

宮城県古川工業高等学校 [定時制課程 (電気科)] のスクール・ポリシー

★宮城県古川工業高等学校が地域社会で目指すもの

- 1 自立した社会人になるための基礎・基本の学力を着実に身に付け、地域を理解し地域の発展のために貢献しようとする、地域愛に溢れた人材を育成する。
- 2 各学科の専門性を備え、地域の課題を自分の課題として解決に向けて探究するとともに、仲間と一緒に活動する人物、リーダーを育成する。
- 3 心身共に健康で自他を尊重し、多様な人々と協働であり、コミュニケーション力のある人材を育成する。

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 自発的に学び、かつ考え、行動できる個性豊かな人間を育成します。
- 協同精神を重んじ、平和的な社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育成します。
- 一般教養を高めるとともに、工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、工業技術の諸問題を主体的・合理的かつ倫理観をもって判断できる思考態度を育成します。
- 工業教育全般を通して、環境問題や安全意識の高揚を図り、望ましい職業観や勤労観を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 共通科目 47 単位, 専門科目 29 単位, 特別活動 4 単位の合計 80 単位を 4 年間で習得します。
- 電気に関する一般知識を学習し、コンピュータや電気工事などの実習を通して将来の仕事に役立つ技術を習得します。
- 4 年生では、自分達が決めたテーマで 1 年間課題研究に取り組み、研究成果を発表しています。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 電気・電子・情報に対する興味・関心があり、自ら電気実習や実験の作業に安全かつ積極的に取り組むことができる生徒。
- 定時制課程 (夜間) において、卒業に向けて前向きに学業に励む生徒。
- 基本的な生活習慣が確立していて、道徳やルールを守ることができる生徒。
- 中学校で学習や生活に意欲的に取り組んだ生徒。
- 資格取得に挑戦するなど、将来は電気系の専門分野への就職を目指す生徒。